文部科学省 地(知)の拠点

本事業は、平成25年度 文部科学省の地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)に吉備国際大学が「だれもが役割のある活きいきした地域の創成」というテーマで採択され、支援を受けています。

第3回 吉備国際大学 地(知)の拠点シンポジウム

だれもが役割のある活きいきした地域の創成

参加費無料

会場

吉備国際大学

高梁キャンパス　7号館 711教室

南あわじ志知キャンパス　C棟 3F 大講義室

※両キャンパスをTV会議システムで結び同時開催

開催日時

2016. 2.19 [金]

13:00-16:45 [開場 12:30]

本学は地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的とした平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に申請し採択されました。

吉備国際大学と岡山県高梁市、兵庫県南あわじ市の地域住民の皆様が協力・連携して、地域課題を解決していく本事業の取組を発表し共有を図る機会として、本シンポジウムを開催します。

【主催】吉備国際大学　【後援】高梁市・南あわじ市

プログラム

13:00-13:30 開会挨拶　吉備国際大学 学長　眞山 滋志
来賓挨拶　高梁市長　近藤 隆則 氏
南あわじ市長　中田 勝久 氏
外部評価委員紹介

13:30-13:45 「園芸療法プロジェクト　新たな挑戦 ～講義への導入と効果～」
保健医療福祉学部 作業療法学科 講師 三宅 優紀
作業療法学科 3年 澤井 有紀　3年 矢谷 厚樹

13:45-14:00 「地域世代間交流プログラムの実施による地域創成人材の育成」
社会科学部 経営社会学科 教授 井勝 久喜
経営社会学科 3年 髙山 眞紀子

14:00-14:15 「読み書きに困難のある児童への学生による学習支援の試み」
心理学部 心理学科 講師 藤原 直子
心理学科 4年 川本 悠希

14:15-14:30 「南あわじ市立小中学校が所蔵する絵画作品の修復事例」
文化財学部 文化財修復国際協力学科 教授 大原 秀行
文化財修復国際協力学科 4年 江口 理美

14:30-14:45 質疑応答

14:45-14:55 休憩

14:55-15:10 「学生たちの獣害防止とジビエ食品開発」
地域創成農学部 地域創成農学科 助教 金沢　功
地域創成農学科 3年 機谷 勇作

15:10-15:25 「ナルトオレンジの生産状況の実態からみた六次産業化の可能性と課題」
地域創成農学部 地域創成農学科 准教授 森野 真理
地域創成農学科 3年 向井 康貴

15:25-15:40 「地域の廃棄物を、地域で有効利用する －キノコ廃菌床を用いた、地域特産農産物の病害防除－」
地域創成農学部 地域創成農学科 講師 村上 二朗
地域創成農学科 3年 河野 壮太

15:40-15:55 質疑応答

15:55-16:45 外部評価委員講評
閉会挨拶　吉備国際大学 副学長　保積 功一

お問い合わせ先　吉備国際大学 地域連携センター
高梁キャンパス Tel:0866-22-9050　南あわじ志知キャンパス Tel:0799-42-4708
HomePage http://coc.kiui.ac.jp　E-mail kiu-coc@kiui.ac.jp

吉備国際大学 地（知）の拠点シンポジウム ―――――― 第3回

だれもが役割のある 活きいきした地域の創成

2016. 2.19［金］ 13:00開始 参加費無料

吉備国際大学

高梁キャンパス 7号館711教室
南あわじ志知キャンパス C棟3F大講義室

発表者プロフィール ＆ プロジェクト

保健医療福祉学部
作業療法学科 講師
三宅優紀
Miyake Yuki

吉備国際大学園芸療法プロジェクト

園芸は、その活動自体が高齢者になじみがあり、種まきから収穫、そして調理して食べる一連の流れを比較的容易に体験できる点で、今後のリハビリテーション医療や保健福祉の領域で活用されていくことが期待されています。園芸療法を学外実習にて、施設入所高齢者を対象に実践し、高齢者への理解、作業療法評価スキル、社会人基礎力の育成を目的に活動しています。

社会科学部
経営社会学科 教授
井勝久喜
Ikatsu Hisayoshi

地域世代間交流プログラムの実施による地域創成人材の育成

地域（特に中山間地域）の疲弊が進行している現在において、今後どのように地域を経営していくのか明確なビジョンを作成するとともに、多様な人を結びつけてビジョンを実現することができる人材が必要となっています。地域の課題はそこに住む人が解決策を考えなければならないことから、地域の中に人材が必要ですが、実際には、一部の地域を除き人材が不足しています。

本研究では、地域に住む若者や大学生が地域の先達と交流するワークショップを開催することにより、地域の若者や大学生が地域の課題について理解し、地域創成の担い手となる知識や能力を身につけ、地域創成において中心的役割を担う人材となることを目指しています。

心理学部 心理学科 講師
藤原直子
Fujiwara Naoko

読み書きに困難のある児童への学生による学習支援方法の検討 ―高梁市における地域支援機関との連携による支援実践の試み―

小中学校の通常学級には、何らかの発達障害がある児童生徒が6.5%在籍しているといわれています。特に、読み書きに困難がある児童は、学習面の問題だけでなく、できないことへのストレス、自己肯定感の低下などの心理的問題を呈することも多く、友人関係の不和や不登校といった学校不適応につながるケースが多くあります。

このような児童への支援は、主に学校教育において行われますが、一斉授業の中では支援が困難で、個々の特性に応じた特別な指導が必要となるため、十分とはいえません。そのため、支援の必要な児童が、さまざまな形で支援を受けるために、大学や心理相談室および学生にできる支援を検討していく必要があります。

こうした現状をふまえ、発達障害や心理的支援について学んだ学生が読み書きに困難のある児童の学習支援を行い、その効果から、今後大学や学生が実施できる支援方法を検討することが本研究の目的です。

文化財学部 文化財修復
国際協力学科 教授
大原秀行
Ohara Hideyuki

高梁市・南あわじ市の公立小、中高等学校が所有する美術作品の調査及び保存修復

吉備国際大学がある岡山県高梁市、兵庫県南あわじ市にある市立小学校、市立中学校、高等学校に展示されている美術品は空調等設備がないところに設置されているため、汚れや傷がついており修復困難の状態となっています。

そこで、本取組では、各学校を調査し、吉備国際大学の教員、学生の手で修復することで、地域への貢献と教育につながるように取り組んでいます。

地域創成農学部
地域創成農学科 助教
金沢 功
Kanazawa Ko

学生たちの獣害防止とジビエ食品開発

南あわじは農業が主産業ですが、その農業が獣害を受け、農家はやりがいを失いつつあります。そこで、本取り組みでは、学生たちが中心となって猟友会を組織し、狩猟免許を取り、地元や隣県の猟師から罠猟の訓練を受け、獣害防止に努めております。また、捕獲した獣の肉をジビエとして六次産業化するべく、自然獣の捕獲から解体、血抜きまで学生たちで処理をして、臭みのないジビエ肉の開発を進めています。

地域創成農学部
地域創成農学科 准教授
森野真理
Morino Mari

ナルトオレンジの生産状況の実態からみた六次産業化の可能性と課題

ナルトオレンジは、淡路島原産の柑橘であり、夏季まで収穫できる晩柑であることから、かつては高級柑橘として都市圏にも出荷されていました。しかし、出荷量は、70年代半ばをピークに激減しました。近年では、生産者の減少と高齢化も進み、現在の生産状況については十分に把握されていません。ナルトオレンジの出荷量、生産地の分布など、現在の生産状況の情報は、六次産業化を検討する上で必要な基礎資料となります。そこで本研究では、学生とともに聞き取りを行い、ナルトオレンジの生産状況の実態を明らかにすることを目的とします。

地域創成農学部
地域創成農学科 講師
村上二朗
Murakami Jiro

地域の廃棄物を、地域で有効利用する ―キノコ廃菌床を用いた、地域特産農産物の病害防除―

近年、地球規模でのエネルギー問題や環境問題が指摘されています。日本文化の美徳ともいえる「もったいない」は、"MOTTAINAI"として世界の標準語となりつつあり、持続可能な循環型社会の実現に向け、再生資源の有効利用が期待されています。そこで本研究では、地域の農業生産で出た廃棄物を、形を変えて地域の農業生産に再利用することで、作物生産の向上や環境負担の低減に貢献することを目指しています。

文部科学省 地(知)の拠点

文部科学省 地(知)の拠点整備事業

【大学COC（Center of Community）】

本事業は、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的とした事業です。平成25年度は、全国の大学・短大等から319件の申請があり、選定されたのは52件（内 私立大学は15件）でした。

本学は、岡山県高梁市・兵庫県南あわじ市の2つのキャンパスを有しており、地域と連携しながら、共通する課題を、それぞれの持つ教育・研究分野の特徴を活かすことで、単独ではなしえない「シナジー効果」を生むことによって地域課題の解決を図り、活きいきした地域社会を創成することを目的としたテーマで採択されました。

アクセス ＆ マップ

学校法人 順正学園 吉備国際大学

高梁キャンパス

〒716-8508
岡山県高梁市伊賀町8

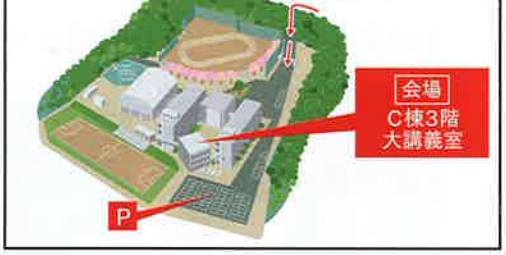
（アクセス詳細説明等）
■お車でお越しの方
賀陽IC下車後、約30分
■公共交通機関ご利用でお越しの方
JR岡山駅～JR備中高梁駅～吉備国際大学
※JR備中高梁駅～吉備国際大学区間は、徒歩約20分です。
市内循環バスもご利用できます。
運賃は160円です。

学校法人 順正学園 吉備国際大学

南あわじ志知キャンパス

〒656-0484
兵庫県南あわじ市志知佐礼尾370-1

（アクセス詳細説明等）
■お車でお越しの方
西淡三原IC下車後、約5分
■公共交通機関ご利用でお越しの方
・JR舞子駅からバスで約50分
（「陸の港西淡」下車すぐ）
・JR徳島駅からバスで約60分
（「西淡志知」下車すぐ）



お問い合わせ先
吉備国際大学 地域連携センター
高梁キャンパス Tel:0866-22-9050
南あわじ志知キャンパス Tel:0799-42-4708
HomePage http://coc.kiui.ac.jp E-mail kiu-coc@kiui.ac.jp